

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 135-0061

住 所 東京都江東区豊洲5-5-13

氏 名 東京パワーテクノロジー株式会社

代表取締役社長 原 英雄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	東京パワーテクノロジー株式会社			
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区扇島4-16 JFE内			
該当する事業者 の要件	☒ 規則第4条第1号該当事業者			
	☐ 規則第4条第2号該当事業者			
	☐ 規則第4条第3号該当事業者			
	☐ 規則第4条第4号該当事業者			
	☐ 上記以外の事業者(任意提出事業者)			
主たる事業 の種類	大分類	R	サービス業(他に分類されないもの)	
	中分類	88	廃棄物処理業	
主たる事業 の内容	低濃度PCB廃棄物の中間処理を実施			
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		4,806 k l	
	☐ 自動車の台数		台	
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂	
連絡先	担当部署	担当部署名		
		所在地		
	電話番号			
	FAX番号			
	メールアドレス			
※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2020 年度 ~ 2022 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	リサイクルセンターの取組みをホームページにて公開しています。 Http://www.tokyo-pt.co.jp/business/environment/pcb-solution.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

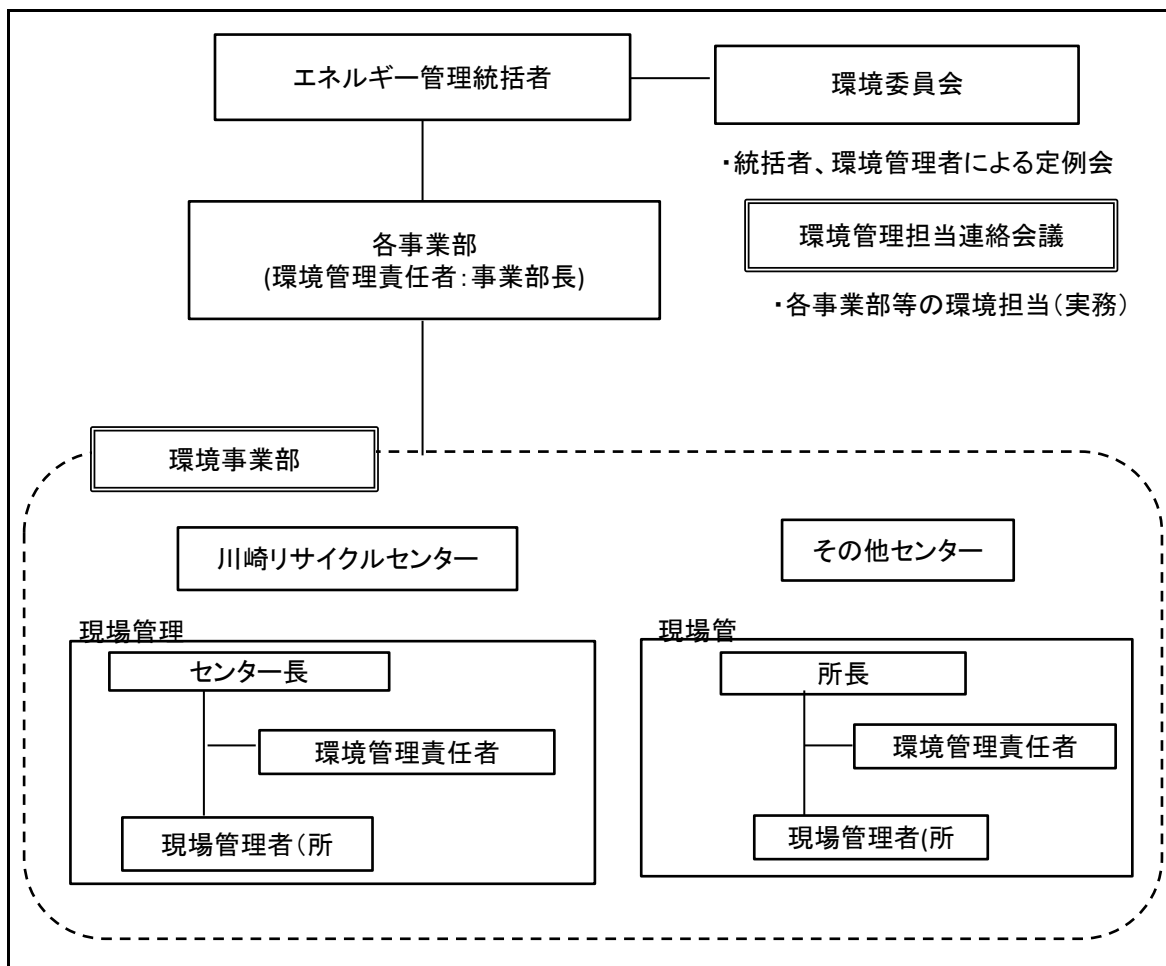
(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

- ・全社環境目標として、「エネルギー消費原単位の前年度比 1 %低減を目指す」を継続し、事務所・事業所等のエネルギー使用量の使用状況を半期毎にレビューする。
- ・リサイクルセンターでの環境マネジメントシステムの運用に伴い、エネルギー管理項目を環境目標に取入れ、エネルギー使用量の削減に努める。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

- ・リサイクルセンター内EMSにおいて、四半期毎のレビューにて削減計画の進捗状況を把握し、年度末のレビューにて次年度事業計画に反映する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
基 準 年 度		2019		年度	
目 標 年 度		2022		年度	
基 準 排 出 量	(実)	9,356		(実)	
	(調)	9,181 t-CO ₂		(調)	t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実)	7,294		(実)	
	(調)	7,155 t-CO ₂		(調)	t-CO ₂
削 減 量		(実)	2,062 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実)	2,062 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実)	0 t-CO ₂	(実)	t-CO ₂
削 減 率		(実)	22.0 %	(実)	%

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等		3号該当者等	
原 単 位 等 の 活 動 量		処分量			
原 単 位 の 単 位		t-CO ₂ /t			
基 準 年 度 の 値		0.7284			
目 標 年 度 の 値		0.7294			
削 減 率		-0.1 %		%	

ウ 目標設定に関する説明

川崎市内の事業所等(4か所)の中で、廃棄物処理を営む事業所では温室効果ガスの排出量が99%以上占めていることから、廃棄物処理事業所での基準年度の単位電気使用量〔1041.3kwh/ t〕を基にし、PCB汚染物の処理期限が定められ受注量の減少が想定される中で、設備の効率的運用に努め年間処理量〔1万トン/年〕とし、廃棄物処理事業所での排出量を設定している。他3事業所では、温室効果ガス排出割合が1%と少なく過去3年度間にて活動量に増減がないことなどから、排出量に変動はないものとして、廃棄物処理事業所での活動量が減少することから、基準排出量に対する削減率が大きくなっている。また、目標排出原単位は、活動量は減少するが、基準年度の単位電気使用量を基とし、事業所等での人員や設備状況に伴うエネルギー使用量の増減は無いものとしていることから、値が微増している。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

全社目標を、「エネルギー消費原単位の前年度比平均1%低減を目指す」として、エネルギー使用量の削減に努めている。事業所等の2019年度の温室効果ガス排出量は2016年度比9.4%減と、各所での節電や空調設備等の更新によって削減につながっていることから、引き続き全事業所等を含めたエネルギー使用量の削減に努め、2019年度比10%減を目指す。
--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	・指定工場となっているリサイクルセンターでのエネルギー管理目標の達成状況を環境委員会に報告・評価する。 ・事業所・事務所単位で、管理権原のある空調設備の整備点検・更新を計画しエネルギー使用量を削減する。 ・リサイクルセンターでの環境マネジメントシステム運用の中で、電気使用設備の管理目標を設定し四半期ごとにエネルギー管理状況をレビューする。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)	

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

・フロン排出抑制法に基づくエアコン等の簡易点検・法定点検の実施や機器の交換により、安定した運転の維持と効率の向上により電気使用量の低減に努めている。 ・リサイクルセンター内の照明設備の見直しによる電気使用量の低減を実施。

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()	×	
その他 ()	×	

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	×	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	
EV、PHV、FCV	×	その他 ()	

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	特になし
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	・ 低濃度PCB廃棄物の中間処理事業において、効率的な設備の運用による確実なPCB処理を維持し期限内処理に貢献する。
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

7 基準年度のエネルギー起源CO₂の排出の量等の実績（1、2号該当者等）

(1) 事業者単位

ア エネルギー起源CO₂の排出量

(実)	9,356	t-CO ₂
(調)	-	

イ 原油換算エネルギー使用量

4,806	K L
-------	-----

ウ 事業所の数

4

(2) 事業所等单位

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
リサイクルセンター	川崎市川崎区扇島4-16 JFE内	9,265 t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所

事業所の名称	事業所の所在地	エネルギー起源CO ₂ の排出量
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂